お気軽にご参加ください!

里親制度説明会のお知らせ

日にち:2024年6月1日(土)

時間:午後2時~午後4時

所:相模原市民会館 2階 講習室 (相模原市中央区中央3-13-15)

様々な事情により、保護者と一緒に生活することが難しい状況になってしまう子どもがいます。 子どもたちが健やかに成長できるよう、自分の 家庭に迎え入れ、愛情と理解を持って養育して くださる方を里親といいます。



内容

- ·里親制度DVD
- ・相模原市の里親制度説明
- ·質疑応答
- ·個別相談





申込み先

相模原市里親養育包括支援センター『ふうせんかずら』

メール minami-satooya@chusinkai.jp

電 話 042-704-8433

①住所②参加者全員の氏名(ひらがな)③固定・携帯電話番号が必要です。

申込み締め切り:2024年5月25日(土)





ご寄付お礼 [2023年9月~12月]

熱いご支援、ありがとうございます。

株式会社セクメット 瀬戸誠 様/株式会社WORLD G8 代表取締役 川越美奈 様/Atsugi Spouses Association 様/田村香織 様/エヌワイプロモーション 代表取締役 大塚則割 様/一般社団法人 神奈川県養豚協会 様/ニラク 海老名本郷店 様/株式会社ザ・シティ 相模大野店 様/武田 リカ 様/平片 千代 様/田所 利一 様/坂本 竜馬 様/北村 慶子 様/株式会社 アトリエヨシノ 様/サンラッキー 相模原店 様/株式会社三光ホーム 様/鈴木 由郎 様/株式会社 MOTTERU 様/豊田 新次郎 様/門倉 松雄 様/相武台リハビリディ サービス 様/渋谷 李沙 様/ほっともっと 様/たいまつ食品 株式会社 様/菱沼 経真 様 菱沼 陽子 様/鈴木 真也 様 鈴木 恵子 様/ジャパンテック神奈川 萩原 寛明 様/渋谷 秀和 様/株式会社 山下洋食器 様/会田 吉美 様/株式会社まるしげ不動産 代表取締役 荒川滋良 様/神奈川トヨタ自動車株式会社 様/株式会社三景 代表取締役 角谷 豊人 様/株式会社トムス・エンタテインメント 様/公益法人 毎日新聞東京社会事業団 様/株式会社カレンズ 代表取締役 木村 仁 様/日本ベビーフード協議会 様/森谷 三枝子 様/小澤 加代子 様



発行日:2024(令和6)年3月10日(日)

発 行:社会福祉法人 中心会 相模原南児童ホーム 〒252-0326 相模原市南区新戸905-1 TEL:046-251-5590

URL http://sagamihara-mi<mark>n</mark>ami.chusinkai.net/ Email:sagamihara-minami@chusinkai.jp <mark>発</mark>行責任者:曽我幸央



沿道の応援に支えられて頑張った駅伝大会

相模原南児童ホーム 所長 曽我 幸央

す。様々な困難を抱えながらも、高校を

2月18日(日)、「新磯を友情と絆で走ろう会」(駅伝大会)に子どもたち、職員の混成チームで参加させていただきました。昨年に続き、2回目の参加でしたが、小学校1年生から高校生までの子どもたちは、沿道で応援して下さった地域の皆様に支えられ、全員が無事に完走することができました。完走した子どもたちは皆、完走した達成感で満願の笑みを浮かべていました。

大会運営に携わった皆様や沿道で応援下さった地域の皆様に感謝申し上げます。

今年は4名の高校生が社会に巣立っていきます。1名が大学進学、3名が就職とそれぞれが自分で選んだ道に進みま

成人式の時は体調面で振り袖を着る

ことは叶いませんでしたが、その後一

生に一度のことなので二十歳の振り袖

を着たいと自分でお金を出して準備し

彼女が「相模原南児童ホームの職員

に振り袖姿を見せたい」と思うのは、「自

分を大事にしてくれた人がいる」と思え

たからだと察します。それは特に在園

中、現場職員の彼女に対する支援にお

いて、ひとかたならぬ努力があったから

卒業し、卒園していく子どもたちに心よりエールを送りたいと思います。









たそうです。

私たちの使命

相模原南児童ホーム 副所長 手塚 賢二

大ノ(学園 に遅いめりまり

生が来訪し、笑顔 そのような職員集団を私は誇りに思 で振り袖姿を見せに来てくれました。 います。

> 今後も私たちは、子ども達の支援を 通して、誰もが自分の存在に誇りを持 ち、生きる喜びを享受するとともに、自 分の家族や隣人の存在を素直に喜ぶこ とができる社会づくりに貢献してまい ります。

綺麗で可愛らしい振り袖姿を見て職員一同大変嬉しく思います。本当におめでとう!!

(ご本人は、恥ずかしいので後ろ姿で 撮って欲しいという要望でした・・・・)



リスマスを楽しみました。



12月18日(月)厚木米軍の皆さんのご協 力により、南児童ホームでクリスマス会を行 いました。内容としては、ゲーム、クラフトづ くり、夕食パーティ、記念撮影を行いました。 私が印象的であったものは、ゲームの所で、 マシュマロをストローで吸って隣のお皿に うつすゲームに子どもたちが熱心に行って いたのが印象的でした。ストローでマシュ マロを吸い付けるところが見た目以上に難 しく、子どもたちも苦戦しながらも隣の子 に負けないように行っていました。

他にもクッキーにカラークリームで色を 付けたり、クラフトで自分だけのオーナメン トを作ったりと、創意工夫を凝らした制作を 行っていました。子どもたちに話を聞くと、 「ゲームで他の子に負けて悔しかったけど、 ゲームは楽しかった。」「作ったクラフトを部 屋に飾っているんだ」と話してくれていま す。子どもたちにとっても印象に残るクリス マス会になったのではと思いました。 (児童課 鈴木)



の方の協力を頂き、とても楽し いクリスマスを子どもたちも過 ごさせて頂いています。サンタ プロジェクトの方々には、1人一 冊クリスマスプレゼントとして絵 本を頂きました。クリスマスの季

節ならではの絵本を頂き、子どもたちはそれを読みながらクリス マスに期待を膨らませ、当日を楽しみして毎日過ごしました。クリ スマス当日は自分たちの食べたいメニューをユニットごとに考え、 とても美味しそうな可愛らしいケーキを寄付して頂き、素敵なク リスマスパーティーをしました。日広建設様、神奈川トヨタ自動車 様、鈴木由郎様よりクリスマスケーキを頂きました。また地域の多 くの方々より沢山のお菓子を頂きました。普段とは違う雰囲気と、 素敵な食事、期待の膨らむサンタさんからのプレゼントを楽しみ に、子どもたちは満面の笑顔でクリスマスを過ごしました。様々な

方からの協力のもと、子どもた ちのはじける様な笑顔を見る事 ができ、職員も嬉しく思っていま す。子どもにとっても職員にとっ ても素敵なクリスマスとなりま した。皆様のご協力に感謝いた します。(児童課 菅)





今年もユニットに サンタとトナカイ がやってきてくれ ました。子どもた ちはそれぞれサ

の角をつけて、プレゼント、もといサンタさ んの到着を今か今かと楽しみにしていまし た。プレゼントを受け取る時の反応は様々で ニコニコで受け取る子もいれば、泣いてし まう子もおりました。それでも受け取ったプ レゼントを開けると、とても嬉しそうに中身 を確認していました。他の子のプレゼントが 気になってしまう事もありますが、各々自分 のプレゼントで楽しく遊んでいました。サン タさん、どうもありがとう。

また、夕食のピザ作りも子どもたちと一緒 に行いました。生地作りと成型は職員が行 い、子どもたちには各々好きな具材やチー ズを掛けてもらいました。出来上がったピザ を見て早く食べたそうな子どもたち。他の 料理やケーキも合わせて素敵なディナーに ご満悦でした。(乳児課 金井)







今年のクリスマスもユニットでクリスマ ス会を行ないました。今年もたくさんの ケーキを寄付で頂き、子どもたちはとて もおいしくいただきました。女子ユニット ではケーキも自分たちで切り分けてお

り、上手にみんなに配る事が出来ていました。

また24日はクッキングデーということもあり、子どもたちが好 きなメニューを子どもと大人とで考えました。みんなとてもおいし そうにご飯を食べていて満足そうでした。

25日はサンタさんからのプレゼントが届きヘアケアグッズやぬ いぐるみ、バスケットボールなどそれぞれが欲しかったものをもら えてとても嬉しそうにしていました。

毎年変わる事のないクリスマスではありますが、子どもたちそれ ぞれが自由に過ごし、良い時間を過ごせました。(児童課 橋本)

projectさんより12月1日(金)~2日(土)、

ディズニーランドに招待して頂きました。例年は日帰りで招待を頂いていた のですが、今年は宿泊で招待して頂きました。宿泊先はディズニーランドと 提携しているホテルに招待したいして頂き、ホテルについた子どもたちは目 に映るものすべてに目を輝かせておりとても喜んでいました。

朝も優先して入園できる特典もついており、朝早かったのですが楽しみか ら珍しくこども達も準備を済ませて入園していました。入園してからも様々 なアトラクションに乗る事が出来て、終了時刻になると寂しそうにしていた のを今でも覚えております。

ディズニーランドは、普段行く機会がなく招待して頂いたNPO法人 Dreams Come True projectさんには職員・児童共に感謝しております。 地域の方や私たちの施設を支援してくださる人々がいるからこそ、子どもた ちの経験が養われていくと考えており、私たち職員も日々の感謝を忘れずに 支援に取り組んでいきたいと考えております。ありがとうございました。 (児童課 松村)



子どもたちが地域の方々との繋がり を持ち、貢献していくことへの活動の -環として、ごみ拾いを行っています。 児童課では月に一度、子どもたちと 緒に掃除をする日を設けており、施 設内だけでは飽き足らず、外に出て活 動しようというところからごみ拾いは

始まりました。大きいトングを慣れない手つきで扱い一生懸命拾う 子もいれば、誰も気づかないような影や茂みに入り体を張ってご み拾いする子もいます。河原沿いや駅までの道のりを往復1時間 ほどかけ、ごみ袋いっぱいになって帰ってきます。その量を見て達

成感を抱いている姿や、全員が一体となって活動している姿をみ て、職員としても刺激をもらっています。今年度からはリサイクル にも月を向け、最初の活動として施設内で集めていたペットボトル キャップを、回収している事業所へ届けました。規模はかなり大き くなりますが、地域への貢献という点で、資源がどのように変化し、 必要としている人に必要なものとしてどのように届くのか、「人の 役に立つ」という喜びを少しでも感じてほしいという願いを込め て、今後も様々な活動を計画したいと思います。

子どもたちは、地域の中で暮らしながら、地域の皆様に支えられ て生活しています。子どもたちの生活に大きな理解を示し、様々な ご支援をいただいている方々へ感謝の気持ちを持ち、私たちは 日々精進してまいります。(児童課 二瓶)



育てノートとは、子どもにとって重要な出来事、大切にしてき た人・もの・場所、どのように過ごし暮らしてきたか等を記録す る、歩みと成長の軌跡を綴った「養育の記録」です。

子どもたちは一人ひとり異なる環境と境遇を抱えて相模原南 児童ホームにやってきます。そして、他児と共に食事をしたり 眠ったり、遊んだり、時にはケンカをしたり、と日常生活を送る中 でたくさんの人との関わりと様々な経験を通して成長していき ます。どんな養育者に育てられたか、また養育者がどのような思 いを持って育ててきたかを知ることで、自分の生い立ちを知る と共に大切に育てられたということ、自分はたった一人の大事な 存在だということを感じてもらえたらという思いが込められて います。また、養育者や生活の場が変わっても、次の養育者に育 てノートを繋いでいくことで、子ども自身が自らの人生の主体者 として歩んでいくことを願っています。(乳児課 佐藤)





子どもたちの生活の様子

ちは何日も前から「サ

ンタさん来るかな?」ととても楽しみにして

おり、たくさんのクリスマスソングを歌って

今か今かとサンタさんが来ることを心待ち

にしていました。いざサンタさんが登場す

ると怖いと泣き出してしまう子も居れば、

やっと出会えたサンタさんに目を輝かせて

いる子も居ました。それぞれ貰ったプレゼ

ントを嬉しそうに開封し、自分だけの特別

な玩具で楽しそうに遊ぶ姿がとても印象

また、クリスマスケーキを見ると子どもた

ちも大はしゃぎ。少しのクリームも残したく

ない!というように大好きなケーキをお皿が

ピカピカになるまで綺麗に食べていました。

夕食では職員も子どもたちと一緒に食

べ、とても賑やかなパーティーとなりまし

た。普段であれば苦手な野菜も頑張る子ど

もたちもこの日ばかりは野菜なんてそっち

のけで大好物をたくさん食べ、とても満足

そうにしていました。地域の皆様からのケー

キ、お菓子、玩具を頂戴しました。誠に有難う







ございました。(乳児課 杉本)

的でした。